

鬼岩の誕生は？

岩石としての歴史は約2000～1500万年前、日本列島形成の地殻変動の時代にさかのぼります。この時の激しい火山活動によって火山灰や軽石などがたまって、「凝灰岩」が出来ました。その地層が隆起し、独特の浸食作用で鬼岩の形になりました。



岩のくぼみはなぜ？

鬼岩の表面にはたくさんの穴があり、特に側面には大きなくぼみがあります。

これは岩の中に含まれていた塩類の働きで出来ました。塩類が雨水で溶けたり、乾いたりを繰り返すうちに岩の表面がぼろぼろになる「塩類風化」という作用です。



なぜ側面だけに大きな穴があるの？

鬼岩は上が傘のように広がり、側面がえぐれたようになって大きな穴があります。

雨によって塩類が洗い流される部分は塩類風化が進みやすく、少し湿ったり乾いたりする側面の方が進みやすいためこのような形になりました。



かさ いわ 傘 岩

鬼岩の西側の山の尾根から、鬼岩に向かい、せりだすように立っています。



こしかけいわ 腰掛 岩

鬼岩のすぐ近く、笹川沿いにあります。

椅子のような形で、地域の民話の鬼伝説から「鬼の腰掛岩」とも呼ばれています。



笹川沿いの彼岸花

鬼岩前の笹川沿いには、およそ300mにわたり彼岸花が群生し、秋の彼岸頃には真っ赤なじゅうたんが一面に広がります。



鬼岩公園

鬼岩を集落の活性化に活かそうと、2000年から地元自治会が手作りで公園の整備に着手し、駐車場や遊歩道、東屋、ベンチ、看板、花壇などを設置。

毎年住民が協力して周辺環境整備、彼岸花群生地の管理などが行なわれています。

住民の一体感を表わす象徴として、地元の自然石（御崎石）で、「一」と「心」の文字が配置されています。



となりのまちの「日本遺産」

りゅうがんさん たついわ 龍巖山 (龍岩)

仁摩町大國 鬼岩から約6 km



切り立つ岩が幾重にも重なる様子が目を引く奇岩。山頂には石見銀山の守りを固める山城「石見城」が置かれた。

石見銀山遺跡・大森銀山地区 鬼岩から約9 km

世界遺産の町「大森町」。世界に影響を及ぼした銀鉱山、石見地方の政治経済の中心として栄えた鉱山町。



松代鉱山の霰石

久利町 鬼岩から約5 km



(廃鉱のため現在行くことは出来ない)

石こう鉱山の副産物。世界的にも希な菊花状の形で産出。県立三瓶自然館などで実物を見ることが出来ます。

静之窟

静間町 鬼岩から約5 km

二つの穴が内部でつながる大型の海食洞窟。国造り神話の関連地としても有名。崩壊の危険があるため立ち入りが禁止されています。

